

「健康経営」という言葉をお聞きになったことがありますか？ 似た言葉に「健全経営」がありますが、これは主として金銭面を重視し「売り上げ、利益とも順調に推移し

## ナビゲーター

財務的に問題のない状況」を指します。一方「健康経営」は、人材面を重視し、定義は「労働者の健康保持・増進の取り組みが将来的に企業の収益性を高める投資である」との考えを根底に持ち、労働者

◆ 37 ◆

# 働く人と組織

働きやすさの獲得と働きがいの創出

健康経営を経営的視点から捉えなおし実践することです。つまり労働者の健康管理を、会社の「費用(コスト)」ではなく会社の「投資(将来のリターンが期待できるもの)」とみなします。

さて、健康とは何でしょうか？ 世界保健機構(WHO: World Health Organization)によれば「病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、社会的にも、すべてが満たされた状態にあること」です。社会的にも満たされる

# 健康管理は「費用」ではなく「投資」

とは、①職場・家庭での人間関係が良好②経済状況が安定③社会的役割がある④夢や目標、生きがいがある—ということです。

健康経営についての古典ともいえるべき「ヘルシー・カンパニー」の著者である米国のロバート・ローゼン教授は、労働者の健康を維持するうえで会社の施策や職場風土の重要性を次のように述べています。

- ①仕事の与え方、指導方法など、会社の労働者に対する見方と健康管理に関する関心
- ②一人ひとりの労働者をかかげのめないものと捉え、健康維持を経営管理の主眼とする
- ③労働者のモチベーションを高め、自主的に仕事に取り組ませ、その成果を正しく評価
- ④労働者が睡眠・栄養・運動などで快適な生活が維持でき、勤務体制、職場環境
- ⑤ストレスを仕事に対するモチベーションに変化、自己効力感が得られる職場風土
- ⑥キャリア開発、教育訓練など労働者の能力向上を醸成する職場風土

健康経営の成果としては、生産性の向上、医療コストの削減、モチベーションの向上、企業のイメージアップによる採用活動への貢献などがあります。経済産業省は、東京証券取引所と共同で、戦略的に健康経営に取り組む企業を原則「業種1社」健康経営銘柄」として選定しています。また「健康経営優良法人認定制度」により、特に優良な健康経営を実践している大企業を「ホワイト500」と認定されています。中小企業が認定されると、低金利融資が受けられます。

【日本産業力ウンセラー協会 中部支部会員 産業力ウンセラー キャリアコンサルタント 社会保険労務士 杉本和夫】  
(火曜日掲載)

